

2016年度-2018年度
中期経営計画
“S t a r t 8 0”

2016年3月

大和自動車交通株式会社

本中期経営計画策定の狙い

- 私ども大和自動車交通グループは1939年創業以来ハイヤー・タクシー事業を主軸に、業界初の株式上場会社としてリーディングカンパニーの役割を担っております。
- ハイヤー・タクシー事業を取り巻く環境は、IT技術の進化や少子高齢化社会の進展と東京オリンピックを契機とした訪日外国人の更なる増加等を背景に今後大きく変化してまいります。
- 当社グループはこうした事業環境の変化に対応すべく、創業80周年に向けた中期経営計画“Start 80”を策定いたしました。
- 本中期経営計画では今後三カ年を「次なる飛躍のための準備期間」と位置づけ、事業基盤の強化を中心に経営幹部から組合員に至る役職員一同、一丸となって着実に施策を推進してまいります。

1.当社グループの目指す姿

経営理念

- ・当社グループは、創業以来「和」の精神に基づき、旅客運送事業を中心に事業を発展させてきた。顧客満足(CS)を第一とし、事業の効率化と原価意識を徹底することにより、経営基盤を確立し、全従業員の物心両面の幸福を実現するとともに社会発展に貢献する。

事業環境の変化と現状認識

- ・IT等の技術進化による旅客運送事業の構造変化(配車アプリサービスの登場・利用拡大等)
- ・乗務員の高齢化、少子化による若年齢層の減少で乗務員不足の深刻化→新卒や女性乗務員の採用を積極化
- ・利用者ニーズの変化(訪日外国人の大幅増加、超高齢化社会の到来等)
- ・省エネ車両／運転支援機能等自動車技術の開発加速

【長期ビジョン】

1. 既存事業の強化と成長方向

総合生活移動産業として、社会に「利便性」と「豊かさ」を提供できる企業

2. 目指すべき企業・組織イメージ

旅客自動車運送業界のリーディングカンパニーとして、社会や顧客から信頼される企業

2. 三カ年経営基本方針と到達目標

経営基本方針

・ハイヤー・タクシー事業を中心に、質の高い「移動」サービスを提供できる持続可能なビジネスモデルの構築とグループ各社の特性を発揮した事業の展開に取り組んでいきます。

・特にこれからの3か年については、2020年の東京オリンピックというビジネスチャンスを見据え、以下の3点に注力します。

- 1) 高い安心、安全性のもとに営業戦略の立案、推進を行い営業強化に取り組む
- 2) 情報技術や最新の自動車関連技術による“移動サービスの進化”へ積極的に対応する
⇒「安全性」、「利便性」と「豊かさ」の徹底追求
- 3) グループ各社の人材・資産の活用と、各社の役割の再評価により、持続的成長、発展を図る

定量目標(2018年度末時点)

- ・連結売上高 178億円
- ・連結営業利益 8億円
- ・連結経常利益 7億円
- ・ROE 5%
- ・一株あたり当期純利益 50円
- ・有利子負債額 ▲20億円(2016年3月末比)

定性目標(2018年度末時点)

今後3カ年で以下を実現し、次なる飛躍のための準備が完了している

- ・新卒乗務員採用と女性乗務員採用の定着化
- ・多様化するニーズに対して新サービスの提供開始

3. 取り組むべきテーマ（課題）と解決策 要旨 1/3

テーマ

I－①：勤務形態の多様化等の施策による乗務員採用の強化と定着率の向上

I－②：乗務員の接遇力と営業力の更なる強化

I－③：業界最高水準の安全性の確保と快適な車内空間の実現

I－④：営業管理能力の向上による利益体質の強化

I－⑤：地域社会貢献への積極的取り組みと企業PR（広報機能）の強化

要点

- 新たな勤務体系・人事制度の導入により乗務員採用数を増加させ、稼働率の向上を実現するとともに、職場環境の改善等の施策を通じて乗務員の定着率を高める。
- 担当組織を立ち上げ、新卒乗務員、女性乗務員の増加を達成する。

- 乗務員表彰制度の拡充、研修・教育の強化、モニター制度の改善等を通じておもてなしの質の強化に努める。
- 乗務員ランク制度等を検討し、高品質のサービスを提供できる体制を構築する。

- 人命尊重意識、モノを大事にする意識の徹底。
- 事故防止教育の強化、事故の事前防止・再発防止を徹底する。
- 車両の積極的な高機能化を通じて、車両の安全性向上と「大和＝先端車両」のイメージ定着を図る。

- ハイヤー事業において、顧客別損益管理の仕組みを定着させるとともに、社内外の情報連携を強化し、優良顧客の取込と利益体質を強化する。

- 自治体等の取り組みへの支援を通じて、企業の社会的責任を果たすとともに、大和ブランド及び施策認知度の向上を図る。

（事業基盤強化に向けた課題）
ハイヤー・タクシー事業

3.取り組むべきテーマ（課題）と解決策 要旨 2/3

テーマ

ハイヤー・タクシー事業
(成長に向けた課題)

Ⅱ-①
特定ニーズにフォーカスした移動サービスの強化

Ⅱ-②
「自動運転時代」への準備と戦略的布石

要点

- 特定のニーズ(ビジネス利用、訪日外国人、個人移動、施設送迎等)に対応したサービスモデルを設計する。
- モバイル端末でのアクセスが適合するサービスに関しては、アプリ開発を行う。
- 上記を実現するため、新サービス推進プロジェクトを立ち上げる。

- 自動運転技術の発展がタクシー業界に与える影響を定期的に調査し、当社の基本スタンスを定める。

3.取り組むべきテーマ（課題）と解決策 要旨 3/3

	テーマ	要点
その他事業・間接部門	<p>不動産部門</p>	<p>【不動産】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ビル、マンションのリニューアル・リノベーションによる稼働率の向上 <p>【スリーディ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲介業務の推進 ビル管理及び改修工事の効率化 清掃業務の外部受注促進
	<p>販売部門</p>	<p>【大和物産】</p> <ul style="list-style-type: none"> LPG、ガソリン事業の見極めと次世代のエネルギー事業や新規事業の展開検討 <p>【大和工機】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計能力の高さを活かした得意先の拡大、特殊部品の受注生産拡大 生産を開始するベトナム工場の稼働率向上
	<p>間接部門</p>	<p>【総務、経理、営業企画】</p> <ul style="list-style-type: none"> IR、広報体制の強化 <p>【総務人事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材育成 経営トップから担当者まで、研修制度の充実 賃金体系、賃金規定の見直し、目標管理・評価制度の定着化、業務フロー・手続きの整備 <p>【経理財務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当社グループ全体の会計処理・経理能力の向上、資金効率の向上施策検討